

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム アイリーフ当新田

目標達成計画

作成日：令和4年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	3	官公庁関係にも視野を広げてみてはいかがでしょうか？	定期的に施設内の取り組みを紹介した配布物を入居者と職員とで官公庁関係に持参し、関係づくりが構築できる。	運営推進会議の資料と共に、入居者手作りの雑巾を、保育園や小学校に寄付を行う。官公庁等への訪問は入居者と共に伺う。 12ヶ月
2	5	ヒアリハットだけでなく、以前の気づいたことにも目を向けてみてはいかがでしょうか？	ポジティブな面を捉え、入居者の可能性を広げ、職員・入居者・家族等のモチベーションが上がる。	電話やLINEでキーパーソンに様子を報告する時は、本人が出来るようになったこと、危ないけど視点を変えれば可能性に繋がるような内容を報告し、記録にも残す。ケアカンファレンスや申し送りの際に、一人一人の成功事例を報告する場を設けて、共有・実践し(グッド・プラクティス)ケアの見直しに役立てる。 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。